

第118期 中間報告書

自 平成29年12月 1 日
至 平成30年 5 月31日

株式會社 小島鐵工所

群馬県高崎市劍崎町155番地

第118期 中間報告書

平成29年12月1日から平成30年5月31日に至る第118期上半期の事業の概要及び諸計算を次の通りご報告申し上げます。

事業概要

当中間期におけるわが国経済は、好調な輸出および個人消費の改善等を背景に、緩やかな回復基調が年度を通して続いております。

こうしたなかで、当社は受注・生産・管理部門の力を結集して受注活動を推し進めるとともに、引き続きコスト削減に努め、収益力の改善・向上に取り組んでまいりました。

受注状況につきましては、当中間期の受注高は、鍛造業界向け大型物件2台（2台計18億88百万円）の受注を始め、プラント設備工事に関連する大型物件（20億円）の受注に成功し、前年同期（11億54百万円）の4倍となる44億50百万円へと大きく飛躍することができました。また受注残高につきましても、前年同期末（16億84百万円）から約3倍となる46億97百万円を確保できております。平成31年11月期は、上記鍛造業界向け大型物件2台が納期を迎え、売上高・利益共に貢献し、黒字回復に期待しているところでございます。

売上状況につきましては、一部請負工事物件について工事進行基準を適用して売上処理を行っておりますが、当中間期の売上高は、受注残物件の進捗から、目標数値（8億円）においては同水準でしたが、前年同期（6億14百万円）においては、これを上回る7億96百万円の売上を計上することができました。

利益面につきましては、中間純損失は、引き続き原価低減や諸経費全般に亘る削減に努めておりますが、厳しい同業者間競争から想定した利益に至らず、前年同期純損失（81百万円）並みの76百万円となりました。

また、財政状態は、現金及び預金残高24億14百万円を確保しており安定した状況下にあります。

対処すべき当面の課題につきましては、受注の確保に取り組むことが最重要課題であり、今後につきましては、相次ぐ大型物件の受注を追い風に、営業戦略体制の強化を継続し、全社一丸となって受注優先に努め、現在、国内の鍛造・製鉄業界を中心に浮上している、有望な引き合い物件の受注成約に向け全力で取組み、今後の売上増加・業績回復に期待しているところであります。

生産状況につきましては、引き続き設計・資材・製造・営業各部門間の連携強化と採算重視戦略を追求し、新規導入した大型機械設備の積極的な活用により効率的・短納期生産を推し進めてまいります。また、弊社の今後を見据え、若年層の新規採用の推進、及び教育機関の有効活用を行いながら若手・中間層の技術者育成を図り、今後一層の業績改善に努め、黒字体質の実現を図っていく所存であります。

今後とも、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上

中間貸借対照表

(平成30年5月31日現在)

(単位千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	2,754,298	流動負債	2,618,351
現金及び預金	2,414,606	支払手形	360,950
受取手形	96,754	買掛金	59,187
売掛金	117,906	短期借入金	1,530,000
原材料	28,595	未払金	11,776
仕掛品	60,711	未払費用	6,300
その他の流動資産	35,723	未払法人税等	2,500
固定資産	640,399	前受金	549,627
有形固定資産	574,698	リース債務	18,838
建物	134,217	賞与引当金	62,200
賃貸用建物	183,205	設備支払手形	432
構築物	4,717	その他の流動負債	16,538
機械及び装置	100,904	固定負債	182,174
車輛運搬具	7,091	リース債務	14,599
工具、器具及び備品	14,693	退職給付引当金	65,513
リース資産	11,623	預り敷金	100,000
土地	118,243	繰延税金負債	2,061
無形固定資産	21,674	負債合計	2,800,526
特許権	831	純資産の部	
ソフトウェア	440	株主資本	589,465
リース資産	19,202	資本金	501,782
電話加入権	1,200	資本剰余金	5,373
投資等	44,027	資本準備金	5,373
投資有価証券	18,128	利益剰余金	88,238
関係会社株式	10,000	利益準備金	125,445
出資金	1,575	繰越利益剰余金	△37,207
その他の投資	14,323	自己株式	△5,928
		評価・換算差額等	4,706
		その他有価証券評価差額金	4,706
資産合計	3,394,697	純資産合計	594,171
		負債純資産合計	3,394,697

(注) 1. 記載金額は千円未満を切捨表示しています。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 2,122,422千円

中間損益計算書

（自 平成29年12月1日）
（至 平成30年5月31日）

(単位千円)

科 目	金 額
売 上 高	796,710
売 上 原 価	750,454
売 上 総 利 益	46,255
販売費及び一般管理費	133,915
営 業 損 失	△87,659
営 業 外 収 益	32,889
不 動 産 賃 貸 収 入	29,926
受 取 利 息	31
そ の 他	2,931
営 業 外 費 用	21,059
不 動 産 賃 貸 費 用	8,801
支 払 利 息	11,443
そ の 他	814
経 常 損 失	△75,829
税 引 前 中 間 純 損 失	△75,829
法人税、住民税及び事業税	501
中 間 純 損 失	△76,331

(注) 記載金額は千円未満を切捨表示しています。

中間株主資本等変動計算書

(自 平成29年12月 1 日)
(至 平成30年 5 月31日)
(単位千円)

項 目	株主資本	
	資本金	資本剰余金 資本準備金
平成29年11月30日残高	501,782	5,373
中間会計期間中の変動額		
剰余金の配当	-	-
中間純損失 (△)	-	-
自己株式の取得	-	-
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	-	-
中間会計期間中の変動額合計	-	-
平成30年 5 月31日残高	501,782	5,373

項 目	株 主 資 本			
	利 益 剰 余 金		自己株式	株主資本 合 計
	利 益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金		
平成29年11月30日残高	125,445	39,124	△5,815	665,910
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当	-	-	-	-
中間純損失 (△)	-	△76,331	-	△76,331
自己株式の取得	-	-	△113	△113
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-
中間会計期間中の変動額合計	-	△76,331	△113	△76,444
平成30年 5 月31日残高	125,445	△37,207	△5,928	589,465

項 目	評価・換算差額等		純資産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額	
平成29年11月30日残高	5,608	5,608	671,519
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当	-	-	-
中間純損失 (△)	-	-	△76,331
自己株式の取得	-	-	△113
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	△902	△902	△902
中間会計期間中の変動額合計	△902	△902	△77,347
平成30年 5 月31日残高	4,706	4,706	594,171

(注) 記載金額は千円未満を切捨表示しています。

以上の通りであります。

〔取締役及び監査役〕

代表取締役会長	児	玉	三	郎
代表取締役社長	児	玉	正	蔵
取締役相談役	児	玉	恒	二
取締役 (専務執行役員工場長)	櫛	渕	洋	二
取締役 (常務執行役員営業本部長)	塩	澤	成	仁
取締役 (執行役員)	田	中	教	司
取締役 (執行役員)	力	石	雅	之
常勤監査役	佐	野	正	明
監査役	城	田	義	明
監査役	忠	永	和	治

〔執行役員〕

執行役員	高	瀬	勝	美
執行役員	品	川	一	弥
執行役員	矢	嶋	佳	正
執行役員	小	林	義	弘
執行役員	黒	岩		進
執行役員	長	島	弘	明

会 社 の 概 要

商 号	株式会社 小島鐵工所 Kojima Iron Works Co., Ltd.
本 店	群馬県高崎市剣崎町155番地
創 業	文化6年(1809年)
設 立	昭和11年6月1日
資 本 金	501,782,350円
発行済株式数	10,035,647株
主 要 事 業	各種油圧プレス及び同関連装置

株 主 メ モ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
期末配当金及び 中間配当金	期末配当金は毎年11月30日現在の株主に、中間配当を行う場合は毎年5月31日現在の株主にそれぞれ支払います。
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

